

電流方向検知により探査対象の識別が可能になる パイプロケーター



高千穂産業は1959年に創業し通信および電力用物品の取り扱いから始まり、現在では通信・電力・ガス・上下水道・建設などのインフラ関連業界で用いる計測器・試験器を柱として開発・製造・販売を一貫して事業を展開しております。

この度、パイプロケーターをリニューアルし「MPL-H12」をリリースする運びとなりました。今回のリニューアル

では、かねてより当社パイプロケーターをご利用いただいておりますが、ガスさまからご要望いただいております「探査対象の識別が可能になる機能」(CD機能)を搭載しました。

CD機能は、ガス管に流れる電流の方向を検知して探査対象のガス管であるかどうかを識別する機能です。並走管が複数埋設されている現場では、探査対象のガス管の識別が難しいことが多々ありますが、この機能を使用することで探査対象のガス管の埋設位置の特定がしやすくなり、効率的かつ精度の高い埋設探査が可能になります。この機能が他工事損傷事故防止のための一助となれば幸いです。

その他の新機能としてバイブレータ機能を追加しました。探査中にガス管の直上付近で振動と▲表示でお知らせします。受信器の画面をずっと見ながら探査するのではなく目線を画面から離すことができるため、感覚的な探査が可能になります。また、視野が広がることにより事故防止、安全対策にも効果的です。さらに、自己診断機能も追加しました。送信器および受信器が正常に機能するかどうかを自動チェックする機能です。日常の簡易点検が容易にできるようになりました。当社では今後も、お客さまとともに培ってきた技術力を生かし、常にお客さまのご要望にお応えできる製品を提供することとで皆さまの業務の効率化、安全対策に貢献して参ります。